

普及活動情勢報告（平成30年4月分）

高吾農業改良普及所

夏秋高糖度トマト「ぴゅあトマト」の栽培が始まる！



J Aコスモスの夏秋高糖度トマト「ぴゅあトマト」が3月～4月にかけて定植されています。この「ぴゅあトマト」はJ Aコスモス吾川支所夏秋トマト生産部会の生産者4名が栽培しており、収穫始めの5月末から12月頃まで出荷が行われます。

普及所は、定植後の生育状況の把握と今後の栽培管理について助言指導を行いました。今後、2週間ごとに巡回を行い、土壌および汁液分析の結果をもとに栽培管理についての指導を行っていきます。

みんなで敵を知ろう！J Aコスモスニラ生産部、ネダニ対策勉強会を開催



4月6日、J Aコスモスニラ生産部がネダニ対策勉強会を開催し、後継者や新規就農者を含む16名が参加し、生態や最新の防除方法を学びました。

ネダニは近年被害が拡大しているため農家の関心も高く、「湛水処理の効果は？」「土壌消毒の効果範囲は？」と質問が相次ぎました。普及所は農薬の使用例を示して適期防除を呼びかけました。

今後も普及所は病害虫防除の徹底を呼びかけ、ニラの高品質・多収生産を支援していきます。

苗の良好な生育を確認！露地ニラ講習会の開催



4月5日、J Aコスモスニラ生産部露地ニラ講習会が（公財）いの町農業公社で開催され、露地ニラ生産者10戸が出席しました。今年は4月9日から苗の配布が予定されており、参加者は定植直前の苗の状況を確認しました。

普及所は中央西農業振興センター普及課と連携して定植後の栽培のポイントや病害虫防除を指導しました。また、栽培暦を配布し、基本管理を周知しました。

今後は、定期的な現地巡回や病害虫の適期防除指導により露地ニラの生産安定を支援していきます。

若い人に伝えたい！郷土料理の伝承活動



4月10日、佐川町生活改善グループが総会と郷土料理講習会を開催し、13人が参加しました。講習会では季節の山菜や野菜を使った料理を作り、総会でも「町外での活動を増やしたい」という声が上がりました。メンバーの呼びかけにより今年は3人の若いメンバーが加わり、今後も郷土料理の伝承活動や町内でのイベントでの加工品販売等行うことが決まりました。

普及所は、今後も郷土料理の伝承やグループ活動を支援していきます。

加工用ワサビ収穫始まりました。



高吾普及所管内の加工用ワサビは越知町を中心に6戸72aで栽培されており、収穫は例年並みの4月16日から始まりました。今年は2月までの例年以上の冷え込みで生育が遅れ気味でしたが、3月以降の気温上昇で遅れを取り戻しました。

普及所では収量向上に向け、苗の大きさが収量に及ぼす影響を調査しており、調査結果を基に育苗の見直しを検討していきます。

今後も普及所では関係機関と連携して加工用ワサビの安定生産と収量・品質向上に向けて支援していきます。

集落営農塾（関係機関編）始まる



4月10日、越知町で関係機関を対象に集落営農塾を開催し、地域の集落営農活動の参考となるDVDにより研修しました。既存の集落営農組織のステップアップや新たな組織の立ち上げには関係機関の連携が欠かせないため、関係者の意識統一が目的です。DVDでは法人化や研修生の受け入れ、新たな品目の導入といった内容が紹介され、参加者は真剣に見入っていました。

今後も普及所は、関係機関と連携を深めることで集落営農の推進を行っていきます。

「シュガートマト」の出荷が最盛期に！



J Aコスモスの「シュガートマト」が収穫・出荷の最盛期を迎えています。「シュガートマト」はJ Aコスモス日高支所ハウス園芸部のトマト生産者19名が栽培しており、11月～6月末まで収穫・出荷されます。今年は4月から徐々に出荷量が増えており、現在トマト選果場には日量2tを超えて出荷されています。

普及所は、現地巡回での土壌・汁液分析および診断や講習会での指導を行っており、今後も収量アップに向けた栽培管理を支援していきます。